

中間考査への取り組み方

50回生の皆さん、18日（木）から高校初の定期考査が始まります。どのような心持ちでしょうか。

ここで、ある人物を取り上げたいと思います。その人物とは、北播磨（多可町）のスーパー・大勢選手です。テレビのニュースで拝見したのですが、そこには早朝からトレーニングをし、しっかりと準備をされている大勢選手の様子が映し出されていました。

彼は、西脇工業高3年生の時から「べっちょない（播州弁で大丈夫）」という言葉グラブ（グローブ）に刺しゅうをし、マウンドに立つ時、自らを奮い立たせているそうです。プロとして、「べっちょない」と思えるぐらい、しっかりと準備をしている姿勢をぜひとも参考にしてほしいです。

「中途半端な準備しかしていないと、大事な場面で不安になります。自信を持てるだけの準備をして臨みましょう。」最初だからこそ、全力を尽くしてください。一つ一つの積み重ねが、必ず、自分自身の進路実現につながっていきます。

福祉のこころ

4月28日（金）5限、「福祉のこころ」という多可高の特色ある授業において、福祉科のガイダンスの第一弾がありました。

まず、勝ち抜きジャンケンというゲームを通し、「アイスブレイク＝氷を壊す＝緊張をほぐす」ことの大切さを学びました。そして、「福祉」は専門的なことだけでなく、「優しくする・助ける・気持ちを理解・悲しませない・広い心をもつ」等、身近に存在するものということを学びました。また「福祉」の漢字にこめられている意味として、「福」「祉」には「幸せ」という意味があり、もう一つの意味として、生活を豊かにするという意味もあるそうです。

最後に、「福祉」という言葉が無かった時代、「救済」と言われていたことも学びました。

「福祉のこころ」の授業では、年間を通し、福祉科の先生から様々なことを学んだり、パラスポーツを体験したりする予定です。

今未来手帳

今未来手帳は、「今」の自分が「未来」を創るというコンセプトの手帳です。

今の自分を振り返り、修正しながら未来へ向かっていける自分を創るというゴールを思い描きながら活用していきましょう。

※学年通信のタイトル「進取の精神（こころ）」の由来は、校歌の第1番からです。

進取（しんしゅ）とは、慣習などにとらわれず、進んで新しいことに取り組もうとすることという意味があります。

50回生の皆さん、この一ヶ月、進取のもとに行動できていますか。

今後の予定

5月18日（木）中間考査【～23日（火）】

25日（木）耳鼻科検診【29日（月）】

26日（金）眼科検診（5・6限）、夏服受渡（卓球場）

6月 1日（木）45分×6限、7限：身だしなみ確認

2日（金）45分×6限、7限：妙見祭の準備【～7日（水）】、個人成績票配布

7日（水）午前：授業（45分×4限）、午後：妙見祭の準備・リハーサル

8日（木）午前：妙見祭の準備、午後：リハーサル等

9日（金）妙見祭（文化祭）

12日（月）公開授業週間【～16日（金）】

16日（金）歯科検診（1～4限）

19日（月）内科検診（5・6限）

23日（金）献血セミナー

26日（月）教育相談

29日（木）教育相談

30日（金）期末考査【～7月6日（木）】

